

胆振管内

北海道の中南部に位置し、全11市町（4市7町）が東西に広がり構成している。地域内を横断する鉄道・高規格道路、室蘭港、苫小牧港を擁し、新千歳空港にも隣接する交通アクセスに優れた立地により、ものづくり産業が集積している。また、温暖な気候を生かした農業、噴火湾・太平洋海域の特性を生かした水産業、鉄鋼などの工業や、日本有数の温泉地を中心とした観光を含め、各産業のバランスがとれた地域となっている。



胆振管内 令和6年度の実践（1） 「スタートアップ支援学習会」

テーマ：「障がい×スポーツ」

～デフフットサルを通じた聞こえない世界の体験～

講師：ゲストハウスたらこ湯 女将 吉原 和香奈 氏

実施日：令和6年12月18日（水） 会場：白老町総合体育館

活動の概要

- 自身が聴覚に障がいのある吉原氏より、「当事者ニーズを踏まえた事業の企画・運営」について説明があり、その後、聞こえない世界の中でプレーするデフフットサルの体験を行った。

事業のポイント

- 参加者（17名）は、事前に講師より説明を受けることで、「聞こえない」ことにより、背後の足音やアラームなど得られない情報があることや、コミュニケーションの取り方に苦労することなどを知った。
- デフフットサルの体験では、耳栓を付けてプレーすることで、目だけで集めた情報を頼りにプレーする難しさを知ったり、選手間で意思疎通を図る方法を見つけ出すことができたりするように配慮した。



胆振管内 令和6年度の実践 (2)

「多様な主体の連携による学習プログラム構築事業」

テーマ：「障がい×学び」

～聞こえない世界とは？ 全ての人と共に学ぶ環境作り～

講師：ゲストハウスたらこ湯 女将 吉原 和香奈 氏

実施日：令和7年1月30日（木） 会場：苫小牧市教育・福祉センター

活動の概要

- 参加者（29名）が「障がいを抱える人が何に困っているのか？」を掴むために、講演及びミニゲーム・グループワークを行った。全ての人と共に学ぶために大切な「情報を的確に伝えるための環境作り」について意見を交流した。

事業のポイント

- 講演では「音が聞こえないことよりも、情報を得る難しさ」について学んだ。
- ミニゲームでは、カードに記載された内容について、言葉を用いず情報を正確に伝えることができるよう、ジェスチャーや視線の使い方を工夫するように参加者へ促した。
- グループワークでは、口の動きや表情の変化で得られる情報を活用して会話の内容を読み取る難しさを体感するために、耳栓を付けて活動した。

